

令和元年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

事業名：親子森林環境教育(H27)

団体名：長瀬やなせ・こびすの会



事業の目的・内容

長瀬・矢那瀬地域の森林等で、子どもと大人がいっしょに森の仕事についてリクレーションを通じて体験する環境教育学習活動を取りこんでいます。

森の達人の指導のもと安全な埼玉県での森林体験をおこなうことで、災害などにあった他県家族と地域の家族とが子どもといっしょに交流し、自然の大切さを体験的に学ぶ活動です。

具体的には、ツリークライミングやカヤック体験を取り入れ、森林と里山の仕事や暮らしについてお話を聞いたり感想を出し合ったりして、思い起こし、思い出残しをプロジェクターニングツリーのカリキュラムを取り入れて行うものです。



今までの活動状況

2015 年から、地元の法人やボランティア団体（「カラッポの会」等）、行政窓口と連携し、参加者を募集広報し実施してきました。昨年は、3 回体験プログラム応募が成立しました。



2017 年次企画については、残念ながらさまざまな事情で他県からの訪問者が一時的に減少しました。応募者が極端に少なく、インストラクターの都合等もあわず、残念ながらプログラムはすべて中止しました。期間中、他県から見えた家族については、保養の家「カラッポのおうち」（長瀬町矢那瀬）で埼玉の家族との交流、秩父地域で活動する他団体の体験活動を紹介するなど、実情に合わせて対応する活動にとどまりました。



2018 年は一年間祝日、休日に保養の家「カラッポのおうち」利用訪問がありました。残念ながら、会場としていた矢那瀬の森林が事情により使えなくなったこと、インストラクターとの日程が合わなかったことから、体験会は新年訪問家族（3 家族 10 人）のみでした（写真は長瀬元気プラザ、と周辺での体験会スナップ）。そのほかの保養の家利用の皆さんについては、それぞれ、秩父地域の自然と人の出会い・触れ合い計画をご自身でたて、体験していただきました。当会は求めに応じて相談、案内、援助するにとどまりました。



2019 年は年間を通じて、春休み、大型連休、夏休みなど保養の家「カラッポのおうち」の利用訪問がありました。日程がインストラクター、「おうち」利用家族との間で合わなかったことから、従来型の体験会は実施できませんでした。カヤック体験については、新たに「おうち」近隣の「カヌーテ」さんの理解で一般の方といっしょに随時申し込みで受け入れてもらうようになりました。

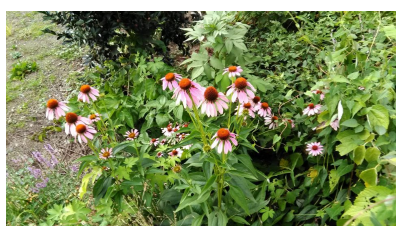
保養の家近くの使われていない畑地で、麦栽培などをとりいれた身近でできる里山回復体験活動については、収穫時の小麦選別見学、虫取り、花摘みなどにとどまっています。使われていない畑地の耕作で、地域近隣の理解が進んでいることを実感していますが、森林教育プログラムとして展開するまでにはもう一歩、努力が必要と思います。



これからの活動・行事

次年次計画では、地域の協力者との連携をいっそう育てて、保養の家近くで使われていない畑地や田んぼで、麦栽培、コメづくりなどをとりいれた近隣フィールドでの森林、里山回復体験活動プログラムを準備しながら募集活動を行います。

具体的行事が決まり次第、広報案内したいと思います。



【活動フィールドとして大豆、小麦などを栽培中の畑地】